SONY

2-586-553-**02** (1)

サイバーショット取扱説明書

はじめにお読みください

お買いあげいただきありがとうございます。

本書と別冊の「安全のために」「サイバーショット取扱説明書 活用編・困ったときは」をよくお読みのうえ製品をお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DSC-W5/W7

Cyber-shot

あわせてご覧ください。

「Cyber-shot Life」(付属CD-ROM)(Windowsのみ対応)
準備から活用まで、サイバーショットの楽しみかたをムービーで紹介します。

取扱説明書「活用編・困ったときは」(別冊)
進んだ活用法と、困ったときの解決方法などを説明します。

サイバーショットの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)はこちらのホームページから。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

© 2005 Sony Corporation Printed in Japan

この説明書は100%古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

1 電池を準備する

- バッテリーチャージャーは、お手近なコンセントにつないでください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消えても電源から遮断されていません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 使い終わったら、電源コードをコンセントから取りはずしてください。ニッケル水素電池をバッテリーチャージャーから取り出してください。

ニッケル水素電池	充電時間
NH-AA-DA×2 (付属)	約6時間

- 表は、付属のニッケル水素電池を使い切ってから、温度25℃で充分に充電するまでの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。
- CHARGEランプが6時間以上点灯することがありますが故障ではありません。

2 電源を入れ、時計を合わせる

❸ コントロールボタンで、時計を合わせる。

1 ▲/▼で日付表示順を選び、●で決定する 。

2 ◀/▶で設定する項目を選び、▲/▼で数値を設定して●で決定する。

3 ▶で[実行]を選び、●で決定する。

- 時計合わせを中止するには、[キャンセル]を選んで、●を押す。

3 "メモリースティック"(別売り)を入れる

「カチッ」と音がするまで奥に差し込む。

"メモリースティック"が挿入されていないときは

本機の内蔵メモリー(32MB)に画像を記録/再生します。→*別冊「活用編・困ったときは」21ページ*

4 用途に合わせて画像サイズを決める

❷ (画像サイズ)ボタンを押す。

❸ 画像サイズを選ぶ。

▲/▼で画像サイズを選ぶ。

- 静止画のときの画面です。動画のときは[640(ファイン)](“メモリースティック PRO”のみ)、[640 (スタンダード)]、[160]から選びます。

❹ (画像サイズ)ボタンを押して、設定を終了する。

(画像サイズ)ボタン

2586553020

付属品の確認をしてください

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

- Ni-MHバッテリーチャージャー BC-CS2A/CS2B(1)

- 電源コード(1)

- 単3形ニッケル水素電池(2)
- バッテリーケース(1)

- USBケーブル(1)

- A/V接続ケーブル(1)

- リストストラップ(1)

- サイバーショットアプリケーションソフトウェア(1)
- サイバーショット取扱説明書 はじめにお読みください(本書)(1)
- サイバーショット取扱説明書 活用編・困ったときは(1)
- 安全のために(1)
- 保証書(1)

"メモリースティック"は付属しておりません
本機には32MBの内蔵メモリーを搭載しておりますが、"メモリースティック"の購入をお勧めいたします。

ご使用前に行ってください

- はじめてお使いになるときは、付属の単3形ニッケル水素電池を充電してください。
- 本機は精密機器です。レンズや液晶画面をぶつけたり、無理な力をかけないでください。また、落下防止のため、リストストラップを取り付けてご使用ください。

■ **サイバーショットオフィシャルWEBサイト**
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

■ **使用上での不明な点や技術的なご質問**

テクニカルインフォメーションセンター
電話：0564-62-4979(おかけ間違いにご注意ください。)
受付時間：月〜金曜日 午前9時〜午後5時(年末/年始/祝日を除く)

付属の電池以外を使うには

単3形ニッケル水素電池/単3形アルカリ電池/単3形ニッケルマンガン電池がお使いになれます。→*別冊「活用編・困ったときは」92ページ*

コンセントの電源で本機を使うときは

別売りのACアダプター AC-LS5Kを使うと、コンセントにつないで使うことができます→*別冊「活用編・困ったときは」13ページ*。取り扱いについて詳しくは、ACアダプターの取扱説明書をご覧ください。

電池の残量を確認するときは

POWERボタンを押して電源を入れ、液晶画面で確認する。

残量表示				
電池残量の目安	充分ある	少なくなった	撮影、再生がもうすぐできなくなる	充電済みのニッケル水素電池と交換するか、充電する(警告表示が点滅)

- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池使用時は、電池残量表示が正しく表示されません。
- ACアダプター (別売り)使用時は電池残量表示は表示されません。

電池を取り出すときは

本機の底面を上に向け、電池カバーを開ける。
電池が落下しないようにご注意ください。

海外で使うときは

バッテリーチャージャー(付属)やACアダプター AC-LS5K(別売り)は全世界の電源(AC100V〜240V・50/60Hz)で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。

コンセントの形状例	主に北米	主にヨーロッパなど
変換プラグアダプター	不要	

- 変換プラグアダプター [a]/電源コンセント[b]の形状は国や地域によって異なります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。
- 電子式変圧器(トラベルコンバーター)は故障の原因となるので使わないでください。

時計合わせをやり直すときは

(セットアップ)メニュー画面で[時計設定]を選び、手順❸を行う。
→*別冊「活用編・困ったときは」53ページ*

時刻表示について

- 手順❸-1で[日/月/年]を選んだときは、24時間表示になります。
- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMと表示されます。

電源を入れたときのご注意

- 時計合わせをしないと、電源を入れるたびに時計設定画面が表示されます。
- カバーが開きレンズ部が動くので、レンズ部に触れないでください。
また、電源を切った状態でレンズが出たまま長時間放置しないでください。故障の原因になります。
- 2回目以降、電源を入れたときは下の画面が表示されます。

電源を切るときは

POWERボタンを再び押す。

- 電池使用時に、電源を入れたまま一定時間操作をしないと、電池の消耗を防ぐために自動で電源が切れます(オートパワーオフ機能)。

静止画の画像サイズについて

「画像サイズ」について詳しくは→*別冊「活用編・困ったときは」11ページ*

画像サイズ	用途の例	撮影可能枚数	プリント時
7M (3072×2304) (DSC-W7のお買い上げ時の設定)	A3サイズプリントやA4サイズ高精細プリントする場合	少ない	精細
3:2 (3072×2048)* (DSC-W7のみ)			
5M (2592×1944) (DSC-W5のお買い上げ時の設定)	A4サイズプリントやA5サイズ高精細プリントする場合	↕	↕
3:2 (2592×1728)* (DSC-W5のみ)			
3M (2048×1536)			
1M (1280×960)	写真のL判でプリントする場合		
VGA (Eメール) (640×480)	より多くの画像を撮影する場合 Eメールへの画像添付やホームページ作成用の場合	多い	粗い

* 写真の印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の横縦比で撮影します。

静止画の記録可能枚数と動画の記録時間について

画像サイズを変えると静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間が変わります。
詳しくは→*別冊「活用編・困ったときは」19ページ*

- 記録枚数は、撮影状況によって異なります。

"メモリースティック"を取り出すときは

カバーを開け、"メモリースティック"を1回押す。

アクセスランプ点灯中は

絶対にカバーを開けたり、電源を切らないでください。データが壊れることがあります。

裏面へつづく

5 簡単に撮る(オート撮影)

被写体をフレーム中央部におさめる。

録画を止めるには、もう1度シャッターボタンを深く押し込む。

コントロールボタンの機能を使うには

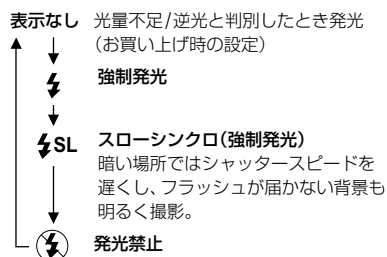
最後に撮った静止画を見る(クイックレビュー)

コントロールボタンの◀(⊡)を押す。
やめるには、もう1度◀を押す。

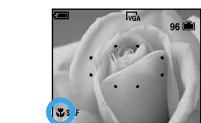
- 表示直後は画像が粗いことがあります。
- 画像を削除するには、⊞/🗑(削除)ボタンを押し、コントロールボタンの▲で[削除]を選び、●を押します。

静止画のフラッシュモードを選ぶ

手順❷の前に、コントロールボタンの▲(⚡)を押す。押すごとに、設定が変わる。

- 表示なし　光量不足/逆光と判別したとき発光（お買い上げ時の設定）
- ⚡　**強制発光**
- ⚡SL　**スローシンクロ(強制発光)** 暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。
- ⊘　**発光禁止**

- フラッシュ推奨距離([ISO]が[オート]の時)
  W側 約0.2～4.5m
  T側 約0.3～2.5m
- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。

被写体に近接して撮る(マクロ撮影)

手順❷の前に、コントロールボタンの▶(🌷)を押す。
やめるには、もう1度▶を押す。

- ズームをW側いっぱいにしてから撮ることをおすすめします。
- ピント合わせの範囲が狭くなるため被写体全体にピントが合わないことがあります。
- 通常よりもピント合わせが遅くなります。

レンズ先端からの撮影可能距離
W側いっぱいのとき：約6cm
T側いっぱいのとき：約30cm

セルフタイマーで撮る

手順❷の前に、コントロールボタンの▼(⏲)を押す。シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピ」と操作音が鳴り、約10秒後に撮影される。

ズームするには

- 動画撮影中はズーム倍率を変えられません。
- レンズの倍率(3倍)を超えると[デジタルズーム]になります。
  [デジタルズーム]の種類と画質について→*別冊「活用編・困ったときは」43ページ*

静止画のピントがうまく合わないときは

- 被写体まで、約50cm以上の距離が取れないときは、「マクロ撮影」(左記)する。
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ピピッ」と音がしません。構図を変えるなどしてください。

ピントが合いにくい被写体：

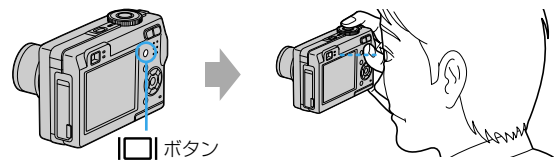
- 被写体が遠くて暗い
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体
- 逆光になっている被写体

画面の表示については

→*別冊「活用編・困ったときは」14ページ*

液晶画面を消すには

⎕(画面表示/液晶画面オン/オフ)ボタンを繰り返し押す。電池の消耗を抑えたり、液晶画面で画像を確認しづらいときはファインダーを使ってください。

場面に合わせて静止画を撮る(シーンセレクション)

- 撮影モードについては、下をご覧ください。

シーンセレクションを解除するには

モードダイヤルをシーンセレクション以外のモードに合わせる。

シーンセレクションの撮影モード

あらかじめ、撮影状況に合わせた下記の設定が用意されています。

夜景モード*
暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮る。

風景モード
遠景にピントを合わせ、遠くの風景などを撮る。

夜景&人物モード*
夜景をバックに、手前の人物を撮る。

ソフトスナップモード
人物や花などを、優しい雰囲気で撮る。

キャンドルモード*
キャンドルライトの雰囲気を損なわずに撮る。

スノーモード
白い風景を明るく撮る。

ビーチモード
海や湖畔など、水の青さを鮮やかに撮る。

* シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

コントロールボタンを使った機能をシーンセレクションと同時に使うには

手順❷で撮影する前に設定してください。モードによっては使えない機能があります。使えない機能のボタンを押すと、ピピッと音が鳴ります→*別冊「活用編・困ったときは」24ページ。*

6 画像を見る／削除する

- 画像サイズ[160]で撮影した動画は、ひとまわり小さく表示されます。

画像を削除するには

1 削除したい画像を表示して⊞/🗑(削除)ボタンを押す。
2 ▲で[削除]を選び、●を押す。

削除を中止するには
[終了]を選び、●を押す。

拡大して見るときは(拡大再生)

静止画を再生中に ⊕ ボタンを押すと、ズームできる。⊖ で戻る。
ズーム位置変更：▲/▼/◀/▶
ズーム中止：●

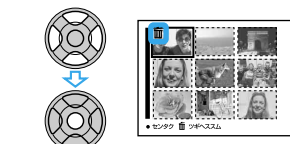
- 拡大した画像を保存するには：[トリミング]→*別冊「活用編・困ったときは」41ページ*

一覧(インデックス)表示で見るときは

⊞(インデックス)ボタンを押し、▲/▼/◀/▶で画像を選ぶ。●を押すと、シングル画面に戻る。◀/▶を押し続けると、次の画面に移る。

もう1度押すと16画面表示になります。

一覧(インデックス)表示で画像を削除するときは

1 一覧表示中に ⊞/🗑(削除)ボタンを押し、コントロールボタンの▲/▼で[選択]を選び●を押す。
2 削除したい画像を▲/▼/◀/▶で選び、●を押して 🗑(削除)マークを付ける。

削除を中止するには
取り消したい画像を選んで●を押し、🗑 マークを消す。

3 ⊞/🗑(削除)ボタンを押す。
4 ▶で[実行]を選び●を押す。

- フォルダ内のすべての画像を削除するには、手順1で▲/▼で[選択]の代わりに[フォルダ内全て]を選んで●を押してください。